



国民体育大会「燃ゆる感動がこしま国体」は9、10日、鹿児島県内で16競技が行われた。青森県勢は、スポーツクライミング少年女子ホルダー競技で関川愛音（八光光星高）長尾裕美（金沢東中）ペアが3位、空手成年男子形で岡本拳（県競技力対策本部）が4位に入った。フェンシング成年男子サーフルは3回戦へ進出。ボクシング成年女子フライ級の工藤紅葉（日体大）が準決勝に進んだ。

このほか、スポーツクライミング少年女子リード競技で関川らが7位だった。フェンシングの成年男子フルレが3回戦、少年男子フルレと空手組手団体が2回戦、フェンシング少年女子フルレ、剣道成年男子が1回戦でそれぞれ敗れた。ラグビー成年男子とホクリング少年女子は予選で敗退。

県南関係では、テニスの少年男子の大場祐希（工大）二高、三浦陽（青森高）ペアが3回戦、少年女子の夏坂海夕愛（八戸西高）工藤帆稀（田舎中）ペア、ボクシング少年男子ライトウェルター級の奈良結芽（工大）一高が2回戦で敗れた。

ボクリングの成年男子個人、成年女子個人に出場した6人は予選敗退だった。

11日は鹿児島県内各地で14競技が行われ（桑田友人、加藤弘也）

上記は3位までと青森県関係分

# 関川、長尾ペア3位 少年女子ホルダー

**スポーツクライミング**  
 △佐賀は4年ぶり2回目の優勝  
 △成年男子ホルダー決勝 ①栃木（川）△四日②大阪③奈良  
 △成年男子リード予選 ②青森（浜）△山本 ②遠藤  
 △成年男子リード決勝 ①佐賀（樋口）中②千葉③奈良

▽少年男子ホルダー決勝 ①佐賀（通）②津③兵庫④三重  
 △成年女子ホルダー予選 ③青森（関川、長尾）②決勝進出  
 △少年女子ホルダー決勝 ①茨城（伊藤、村越）②大阪③青森（関川、長尾）  
 △成年女子リード決勝 ①東京（平野）②青森③埼玉④愛知  
 △成年女子リード予選 ②東京（関）③奈良④大阪⑤埼玉⑥愛知⑦山梨⑧神奈川⑨福岡⑩徳島⑪香取⑫山梨⑬山梨⑭山梨⑮山梨⑯山梨⑰山梨⑱山梨⑲山梨⑳山梨㉑山梨㉒山梨㉓山梨㉔山梨㉕山梨㉖山梨㉗山梨㉘山梨㉙山梨㉚山梨㉛山梨㉜山梨㉝山梨㉞山梨㉟山梨㊱山梨㊲山梨㊳山梨㊴山梨㊵山梨㊶山梨㊷山梨㊸山梨㊹山梨㊺山梨㊻山梨㊼山梨㊽山梨㊾山梨㊿山梨

▽少年女子ホルダー予選 ③青森（関川、長尾）②決勝進出  
 △少年女子ホルダー決勝 ①茨城（伊藤、村越）②大阪③青森（関川、長尾）  
 △成年女子リード決勝 ①東京（平野）②青森③埼玉④愛知  
 △成年女子リード予選 ②東京（関）③奈良④大阪⑤埼玉⑥愛知⑦山梨⑧神奈川⑨福岡⑩徳島⑪香取⑫山梨⑬山梨⑭山梨⑮山梨⑯山梨⑰山梨⑱山梨⑲山梨⑳山梨㉑山梨㉒山梨㉓山梨㉔山梨㉕山梨㉖山梨㉗山梨㉘山梨㉙山梨㉚山梨㉛山梨㉜山梨㉝山梨㉞山梨㉟山梨㊱山梨㊲山梨㊳山梨㊴山梨㊵山梨㊶山梨㊷山梨㊸山梨㊹山梨㊺山梨㊻山梨㊼山梨㊽山梨㊾山梨㊿山梨

## 2度のミスに悔し涙 関川



100点満点中の20点、1位入賞の立役者となった。青森県勢として初出場、関川愛音（八光光星高）のスポーツクライミング少予選と決勝で計八つの課題をクリアしたが、2年女子で、ボルダー競技3題全てをクリアしたが、2

【スポーツクライミング少年女子ホルダー決勝】課題をクリアする関川愛音  
 二南さつま市加世田特設スポーツクライミング広場

度ミスした自身のパフォーマンスに悔し涙を流した。高さ約5メートルの壁に作られた課題の完登数などを競ったボルダー。団体はペア戦で、青森は総合力で他チームと同レベルだったが、関川が完登数を稼いで予選を3位通過した。決勝も圧巻のパフォーマンスに見えた。ただ、スタート位置から三つ横並びの足場を走るようにして、左の壁に張り付く第2課題で落下。「出力が足りていなかった。出場者唯一の日

完登数を稼いで予選を3位通過した。決勝も圧巻のパフォーマンスに見えた。ただ、スタート位置から三つ横並びの足場を走るようにして、左の壁に張り付く第2課題で落下。「出力が足りていなかった。出場者唯一の日



3位で表彰を受ける関川愛音（左）と長尾裕美